

2010 年度
国際認定山岳医研修会
UIAA/ ICAR /ISMM
Diploma in Mountain Medicine

募集要項

主催：日本登山医学会



共催：
UIAA MedCom (国際山岳連盟医療部会)
ICAR (国際山岳救助協議会)
ISMM (国際登山医学会)

後援：
社団法人 日本山岳協会
国立登山研修所



Certificate for Courses in Mountain Medicine

This is to certify that the courses in Mountain Medicine organised by:

Japanese Society of Mountain Medicine

are in accordance with the minimum requirements of the Medical Commissions of Union Internationale Des Associations D'alpinisme (UIAA) and International Commission for Alpine Rescue (ICAR), and the International Society for Mountain Medicine (ISMM). The organisation is entitled to use the UIAA, ICAR and ISMM logos for their courses for two years from May 2010, and award the title *UIAA/ICAR/ISMM Diploma/Certificate in Mountain Medicine* to successful candidates as set out in the Diploma in Mountain Medicine regulations agreed in Aviemore, Scotland in October 2007.

Signed:

Dr Buddha Basnyat M.D.
President
UIAA Medcom

Dr Fidel Elsensohn M.D.
President
ICAR Medcom

Dr Marco Maggiorini MD
President
ISMM

国際認定山岳医制度 Diploma in Mountain Medicine は UIAA MedCom (国際山岳連盟医療部会) により 1997 年に制定された国際認定登山医制度です。現在では、UIAA/ISMM (国際登山医学会/IKAR (国際山岳救助協議会) が認定する国際的な Diploma に発展しています。目的は山岳医学の臨床および研究を、あらゆる面において実践出来る医師を養成することです。現在オーストリア、ドイツ、英国、フランス、イタリア、スイス、スペインの登山医学会がその運営を行っています。上記 certificate にあるように、2010 年度より、日本登山医学会の組織する研修会が、上記 3 組織が認定する国際認定山岳医条件を満たしており、この研修を終了し試験に合格すれば、上記各国のそれと同等の国際認定資格が取得出来る制度が発足することになりました。

目的

山岳医学の臨床および研究を、あらゆる面において実践出来る医師を養成することを目的とします。山岳地帯で発生しうる疾病および外傷の理論と実践について学びます。そのためには山岳環境、およびそこで起こる生理学的変化を理解する必要があります。また山岳地帯へ至るまでの旅行医学の知識および実践も学ぶ必要があります。さらに山岳環境でのサバイバルやレスキューの技術も体得しなければなりません。

募集対象

日本登山医学会会員であって、臨床研修を修了した医師。今後、経験を積んだ看護師・救命救急士などの医療職に募集対象を拓げる予定はあるが、初年度の 2010 年度は対象を医師に絞る。ただし、登山経験のない参加希望者は、事前に日本山岳協会主催の登山技術講習やガイドの登山技術講習を受けておくことが望ましい。

コース概要

一般教程

1. 谷川クラスタ 登山医学会総会に付随して 2010/5/8,9
2. 東京クラスタ 基礎理論学習 2010/6/19,20
3. 立山クラスタ 登山技術実技実習夏季など 2010/7/17,18,19
4. 宇都宮クラスタ 日本山岳での医療上の諸問題 2010/10/03
5. 八が岳クラスタ 登山技術実技実習冬季など 2011/1/8,9,10
6. 山岳・スポーツ活動を経験する 様々な山岳地帯にて

・海外遠征やトレッキングに参加し、医学的援助を行う予定となっている研修生のために、以下の遠征・野生医学コース（40 時間）を設けた。

特別教程；野生医学および海外遠征医学

7. 高所寒冷などに関する実践的理論・ワークショップ（東京） 2010/9/11,12
8. 高所でのサバイバル技術など（東京） 2011/2/19
9. 遠征登山に関連して（東京） 2011/3/5,6

国際認定山岳医の一般教程は、全部で 111 時間になります。しかし種々の事情でこの全教程を履修することが困難な研修生も少なくないと考えられますので、これを前期教程 63 時間と後期教程(赤字で示す) 48 時間の 2 段階に分けて履修することにしました。そして、前期研修における全教程の試験に合格した研修生には、「日本登山医学会認定山岳医・認

定証」を授与し、その段階で更に「国際認定山岳医」を目指すなら、後期研修教程を履修していただきます。教程全試験に合格した研修生に "Diploma in Mountain Medicine" の称号を授与致します。

<2010年-2011年のプログラム（予定）日本登山医学会認定山岳医（国内認定山岳医）のみを希望される研修生は赤字で記載された研修を履修する必要はありません。将来国際認定山岳医も希望する予定があれば履修可能です。>

1. 谷川クラスター 登山医学会学術集会に付随して

- 2010.5.8 旅行医学（1時間、理論）
- 2010.5.8 低体温（1時間、理論）
- 2010.5.8 国際感染症（1時間、理論）
- 2010.5.9 救助技術総論（1時間、理論）
- 2010.5.9 救助技術実践（4時間、実習）

2. 東京クラスター 基礎理論学習

- 2010.6.19 高所（3時間、理論）
- 2010.6.19 低体温症・凍傷（2時間、理論）
- 2010.6.19 水難（1時間、理論）
- 2010.6.19 熱中症・日焼け（1時間、理論）
- 2010.6.19 小児（1時間、理論）
- 2010.6.19 気象（1時間、理論）
- 2010.6.19 栄養学（1時間、理論）
- 2010.6.20 山のリスクマネジメント（1時間、理論）
- 2010.6.20 運動生理学（1時間、理論）
- 2010.6.20 携帯救急医療品（1時間、理論）
- 2010.6.20 法律問題・山岳保険（1/2時間、理論）
- 2010.6.20 ストレス対策（1時間、理論）
- 2010.6.20 関連持病・登山者検診ネットワーク（3時間、理論）
循環器疾患・呼吸器疾患・神経疾患などと登山
- 2010.6.20 現場鎮痛処置（1時間、理論）
- 2010.6.20 国際山岳組織（1/2時間、理論）

3. 立山クラスター 登山技術実技実習夏季など

- 2010.7.17 登山個人装備（1時間、実習）
- 2010.7.17 ネビゲーション技術（4時間、理論+実習）
- 2010.7.17 生存技術・疲労（2時間、理論）
- 2010.7.18 登山技術実技夏期（8時間、実習）
- 2010.7.18 生存技術・疲労（2時間、実習）
- 2010.7.19 沢登り（12時間、立山、実技）（6. を参照）

4. 宇都宮クラスター 日本山岳での医療上の諸問題

- 2010.10.3 女性と山（1/3時間、理論）
- 2010.10.3 老人と山（1/3時間、理論）
- 2010.10.3 ハンディキャップと山（1/3時間、理論）
- 2010.10.3 山の有害生物（脊椎動物、1/4時間、理論）
- 2010.10.3 山の有害生物（無脊椎動物、1/4時間、理論）
- 2010.10.3 山の有害生物（植物、1/4時間、理論）
- 2010.10.3 有害ガス・電撃（1/4時間、理論）
- 2010.10.3 歯のトラブル（1/4時間、理論）
- 2010.10.3 眼のトラブル（1/4時間、理論）
- 2010.10.3 耳鼻のトラブル（1/4時間、理論）
- 2010.10.3 皮膚のトラブル（1/4時間、理論）
- 2010.10.3 フリークライミング（4時間、宇都宮、実技）（6. 参照）

5. 八ヶ岳クラスター 登山技術実技実習冬季など

- 2011.1.8 低体温・凍傷（4時間、理論+実習）
- 2011.1.8 雪崩（4時間、理論+実習）
- 2011.1.9 登山技術実技冬期（9時間、実習）
- 2011.1.10 アイスクライミング（12時間、八ヶ岳、実技）（6. を参照）

・実践外傷学：8時間、外傷病院前救護ガイドライン（Japan Prehospital Trauma Evaluation and Care; JPTEC）

6. 山岳スポーツ活動を経験する

2010.10.3 フリークライミング（4時間、宇都宮、実技） または 2010.10.31 トレールラン（4時間、宇都宮、実技）」

2010.7.19 沢登り（12時間、立山、実技）

2011.1.10 アイスクライミング（12時間、八ヶ岳、実技）

2011.2.20 山スキー・ボード・スノーシュー（11時間、那須、実習）

以上1.～6.の合計111時間が国際認定医資格を得るのに必要な履修課目です。{日本登山医学会認定山岳医（国内認定山岳医）資格のみの希望者は、赤字で記載された教程を履修する必要がないので、計61.5時間になります。}

・国際認定医資格希望者は、さらに以下の遠征・野生医学コース（40時間）を履修することが出来ます（同時履修可）。以下青字で示します。

7. 高所寒冷などに関する実践的理論・ワークショップ（東京）

2010.9.11 高所（4時間、理論＋ワークショップ）

2010.9.11 寒冷（3時間、理論＋ワークショップ）

2010.9.11 遠征医療キット1時間

2010.9.12 旅行医学・極地の人々と文化（4時間、理論）

2010.9.12 実践的外傷学（4時間、ワークショップ）

8. 高所でのサバイバル技術など（那須）

2011.2.19 高所でのサバイバル技術（8時間、実習＋ワークショップ）

2011.2.20 山スキー・ボード・スノーシュー（11時間、那須、実習）（6. を参照）

9. 遠征登山に関連して（東京）

2011.3.5 高所登山用個人装備（2時間）

2011.3.5 現場でのレスキュー技術（4時間、ワークショップ）

2011.3.5 遠征登山に関わるチーム編成（2時間、ワークショップ）

2011.3.6 遠征登山に関わる一般問題（8時間、ワークショップ）

以上7.～9.の合計40時間

<本コース受講前に満たしておくべき項目>

- ・受講者は日本登山医学会会員に限ります。本コース受講前に入会しておいてください。

<http://www.jsmmed.org/pg43.html>

- ・受講者は本コース受講前に山岳保険（冬山登山、岩登り、アイスクライミング、山スキーを行っている最中の事故にも適用出来るもの）に加入していなければならない。

<本コース研修中に満たしておくべき項目>

研修者は認定山岳医資格申請時に一次救命処置 (Basic Life Support; BLS)、二次救命処置 (Advanced Cardiovascular Life Support ; ACLS、または Immediate Cardiac Life Support ; ICLS) および病院前外傷観察・処置 (Japan Prehospital Trauma Evaluation and Care:JPTEC) の修了証を提示することが求められます。

<本コースの一部研修免除基準>

- ・実習期間内に国立登山研修所主催の登山指導員研修会(冬山)に参加した研修生は、登山技術冬期を免除されます。
- ・実習期間内に国立登山研修所主催の山岳レスキュー講習会（無雪期）に参加した受講生は、救助技術総論および実技を免除されます。
- ・実習期間内に日本山岳協会主催の山岳レスキュー講習会(無雪期)または遭難対策委員会総会・研修会に参加した研修生は、救助技術総論および実技を免除されます。

<認定試験>

各クラス終了後認定試験を行います（登山技術その他の実習の試験には、講習の最中や終了前の実技試験も含まれます）。クラス終了後のペーパーテストには、多枝選択式と記述式の設問を行います。多枝選択式の採点基準は、「登山の医学ハンドブック第2版」、「High Altitude Medicine & Physiology 4th edition」、および UIAA Official Standard に従うものとします。シナリオトレーニング（体験学習）を受けた後には、シナリオ実技試験を行う予定です。

費用

参加費は各クラス研修前に定められた額を支払うこととする。ただし「6. 日本での山岳スポーツ活動を経験する」は、それに含まれる4つのコース毎に研修前に支払うこととする。尚、研修生の人数によっては研修料の変更もあり得ることをご了承下さい。

一般教程

1. 谷川クラスタ 登山医学会総会に付随して 5000 円（第 30 回登山医学学術集会参加料）
2. 東京クラスタ 基礎理論学習 30000 円
3. 立山クラスタ 登山技術実技実習夏季など 30000 円
4. 宇都宮クラスタ 日本山岳での医療上の諸問題 10000 円
5. 八が岳クラスタ 登山技術実技実習冬季など 30000 円
6. 山岳・スポーツ活動を経験する
 - フリークライミング・トレールラン 15000 円
 - 沢登り 20000 円
 - アイスクライミング 20000 円
 - BC スキー・ボード・スノーシュー 20000 円

特別教程：野生医学および海外遠征医学

7. 高所寒冷などに関する実践的理論・ワークショップ 20000 円
8. 高所でのサバイバル技術など 20000 円
9. 遠征登山に関連して 20000 円

日本山岳協会の山岳共済保険などの山岳保険（岩登り、アイスクライミングなどの際に発生した事故にも適用出来る保険）に各自の責任で加入して下さい。なお年度が替われば再加入する必要があることをお忘れなく。

宿泊費や食費は原則受講料に含まれません。各自の負担で宿泊先や食事を予約して下さい（こちらで宿泊先を御紹介出来るときは、事前にご連絡致しますが宿泊費は各自負担です）。同様に交通費も各自負担です。

受講登録料として応募申請時に10000円を日本登山医学会山岳認定医実行委員会（日本登山医学会事務局内）に支払っていただきます。

受講取り消し

受講登録料はお返しできません。各コースの受講料も原則的にはお返ししません。但し、もっぱら運営者側の責任によりクラスが受講出来なくなった場合は、そのクラスの受講料はお返しします。

受講修了

本コースは5年以内に修了することが義務づけられます。期限を過ぎた場合、それまでの研修会受講は無効となります。受講料の返還はありません。日本登山医学会認定山岳医資格取得後に国際認定山岳医資格の取得を希望した場合、日本登山医学会認定山岳医受講申請時より5年以内に必要単位を取得すれば、国際認定山岳医資格を取得することが出来ます。

各講習の登山装備

スキー、スノーボード、スノーシューを含む全ての登山装備は、各人で予め用意して講習に臨んで下さい。

UIAA DIPLOMA IN MOUNTAIN MEDICINE

申込用紙

(申込書に記載された個人情報は、管理目的で全講師の間で共有されることをご了承下さい。)

氏名： 男、女

生年月日： 西暦 年 月 日

住所：

電話 職場：

 自宅：

 携帯：

Eメール 職場：

 個人用：

 携帯：

医師免許発行日： 西暦 年 月 日

医籍登録番号：

専門：

希望するコース

1. 国際認定山岳医 (Diploma in Mountain Medicine) 研修
2. 日本登山医学会認定山岳医研修

国内外の登山経験

夏山縦走経験：

夏山岩登り経験：

沢登り経験

冬山縦走経験：

冬山岩登り、アイスクライミング経験

山スキー、ボード経験

公式の登山ガイド、指導員資格：

公式の山岳研修受講記録、受講年月日：

所属山岳会：

救命救急講習受講の経験：

当 Diploma 受講の理由を記述して下さい。それによりどのような貢献が出来ますか。(自分の国内外の登山経験と自分の役割、および特別な登山医学計画、登山医学講習などを含めた記述をお願い致します。裏面への記載も可)

申込は、JSM ホームページから、認定山岳医制度登録フォームにてお願いします。

<http://www.formzu.net/fgen.ex?ID=P72205871>

お問い合わせは下記をお願い致します。

dim01@jmm.org